

“名”は“体”を表す?! — シライトソウ —

山道を歩いていくと、“妖精”のような、“ビン洗いブラシ”が逆さに立っているような、真っ白い花が見られます。日当たりのあまりよくない薄暗い散策路沿いに、並んで咲いている所もあります。

糸くずを束ねたような花の姿に由来して「シライトソウ」といいます。漢字で書くと「白糸草」。ユリの仲間で、学名は、*Chionographis japonica*。ラテン語で[chion]は「雪」、[graphe]は「筆」、[japonica]は「日本の」という意味です。雪のような白い花が、たくさん筆のようについているから、この学名が付いているのでしょう。

シライトソウは、低山の森林や草に深く覆われた場所で、湿った崖や斜面に生えます。多年草で花期は5～6月。花茎の高さは15～50cmで、上部に長さ10～20cmの穂状花序を出し、木綿糸のような白い花を多数つけます。その花の不思議な姿と涼しげな様子から、茶花としても使われることがあります。

今の時期は「雪の筆」よりも「白糸草」の方が、また、“ビン洗いブラシ”よりも“白い妖精”といった方が清楚な白い花にピッタリだと思います。陶史の森を訪れた際には、実物をじっくり見てみてください。また、近付いて匂いを嗅いでみてください。妖精のすがすがしい香りがするかもしれません。



森	の
日	記

多くの人でにぎわいました

5月4日(水)

大型連休の1日、ちびっこ広場には元気に遊ぶ子どもたちの声が響いていました。BBQはまだ中止となっていますが、せせらぎ公園やちびっこ広場は多くの家族連れでにぎわいました。今後も感染対策に気を配りながら、安全に自然の中の活動を満喫していただきたいと思います。



教室のご案内

6月

●ミツバチ教室 (要予約 20家族)

6月18日(土) 午前9時～11時30分

ミツバチ対応のために白色の服装、帽子を準備してきてください。蜂アレルギーの方はご遠慮ください。

●バードウォッチング (要申込 定員10人)

6月26日(日) 午前9時～11時30分

梅雨期の野鳥を観察します。※雨天中止

7月

●草花のしおり作り教室 (要申込 定員10人)

7月9日(土) 午前9時～11時30分

植物を観察・採集して、標本を作ります。

●バードウォッチング (要申込 定員10人)

7月24日(日) 午前9時～11時30分

夏の野鳥を観察します。※雨天中止

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。